OGIMACHI MUSEUM CUBE

OMC 12月の連続ワークショップ

戯曲と向き合う/身体を発見する

戯曲と向き合うワークショップ

戯曲の読み解きから立ち稽古まで、全7回をかけて取り組みます。
取り上げるのは、講師・上田一軒も演出やドラマトゥルクとして関わる演劇ユニット iaku（主宰：横山拓也）の戯曲。
俳優の仕事に、腰を据えて向き合う時間です。

演技をもっと深めたい方から、これから始めてみたい方まで。



全7日間・定員12名（見学可）

12/ 1（火） 9（水） 10（木） 16（水） 21（月） 22（火） 27（日）

18:30 ≫ 21:30（最終日の時間は別途調整）

講師：上田一軒（うえだ いっけん）｜演出家・俳優

1972年、兵庫県出身。1996年、劇団「スクエア」を旗揚げ。関西屈指のコメディ劇団として高い評価を得ており、演出家・看板俳優として全公演に出演。リアルで緻密な劇づくりとエンターテインメント性を兼ね備えた演出に定評がある。また、劇作家・横山拓也主宰の演劇ユニット「iaku」では、演出やドラマトゥルクとして関わっている。小劇場から商業演劇まで演出作品多数。

身体を発見するワークショップ

障碍のある身体そのものを表現に変え、40年以上、独自の道を切り拓いてきた金満里。
その思想と実践のもとで、じっくり自分の身体と向き合い、最終日には成果発表を行います。
表現の経験は問いません。自分の身体の可能性を、ともに探ってみませんか。

新たな身体の可能性を模索したい方へ。



全7日間・定員12名 ※本ワークショップに見学枠はありません。

12/ 8（火） 9（水） 14（月） 23（水）～26（土）

19:00 ≫ 21:30（最終日の時間は別途調整）

20（日）劇団態変 パフォーマンス見学 @メタモルホール ／ 参加任意

講師：金満里（キム マンリ）｜態変 主宰・芸術監督・演出、身体表現芸術家

3歳でポリオにより全身麻痺の重度身障者となる。1983年に劇団態変を旗揚げし、「身体障碍者の障碍そのものを表現力に転じ、未踏の美を創り出す」という思想のもと、身障者にしかできない身体表現芸術を世界に先駆けて創出。国内外で高く評価される。2016年 社会デザイン賞優秀賞、2022年 大阪市市民表彰（文化功労部門）。



OMC 12月の連続ワークショップ

戯曲と向き合う/身体を発見する

扇町ミュージアムキューブ（OMC）では、身体と戯曲それぞれのアプローチから
表現を深める2つの連続ワークショップを開催します。
第一線で活動を続ける講師のもと、少人数でじっくりと向き合う全7日間です。

料金　一般 14,000円　学生・障がい者 8,000円

申込　QRコードよりお申込みください。　〆切：11/20(金)中

※フォームでのお申込みが難しい方は、お電話・メールでも受け付けます。
※介助・情報保障などサポートが必要な方は、お申込み時にご相談ください。



扇町ミュージアムキューブ OGIMACHI MUSEUM CUBE とは？

大阪市北区・扇町の新しい文化創造拠点となるべく、2023年10月にオープンした、株式会社シアターワークショップが運営する民間の劇場。医療複合施設i-Mall（アイモール）内にあり、250席の劇場【CUBE01】やミニシアター【扇町キネマ(CUBE03)】、ワークショップや展示ができる【CUBE05】、音楽やダンスの練習室として使える【CUBE08】など、大小さまざまな10個のCUBEからなるシアターコンプレックスです。

会場

扇町ミュージアムキューブ　CUBE 02

※「戯曲に向き合うWS」は12/9（水）・16（水）のみCUBE01で開催します。

〒530-0052　大阪府大阪市北区南扇町6-26
■大阪メトロ堺筋線「扇町」駅（5番出口）から徒歩3分
■JR環状線「天満」駅から徒歩7分　■JR「大阪」駅から徒歩15分



お問い合わせ

扇町ミュージアムキューブ
TEL: 06-6766-4166　MAIL: info@omcube.jp

劇場公式HP

https://omcube.jp

主催：扇町ミュージアムキューブ（運営：（株）シアターワークショップ）
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業（地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業））
独立行政法人日本芸術文化振興会